

令和6年第4回白馬村議会定例会 総務社会委員会審査報告

本定例会において、総務社会委員会に付託された案件は、議案7件、陳情1件です。審査の概要と結果を報告します。

● 議案第52号 北アルプス広域連合の規約の改正について

北アルプス広域連合第6次広域計画作成に当たり、「大北地域」を「北アルプス地域」に名称を変更することから、規約においても同内容を改める、また、白馬リサイクルプラザについて、処理事務及び広域計画の項目に追加するもの。

質疑討論はなく採決したところ、議案第52号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定しました。

● 議案第54号 白馬村執行機関の附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例について

白馬村こども計画策定にあたり、白馬村子ども・子育て会議の担当事務に、こども基本法第10条第2項の規定に掲げる事務を追加、また、予防接種により発生した健康被害に関する事項を調査審議する機関として、「予防接種健康被害調査委員会」を附属機関に追加、また、白馬村特別職の職員で非常勤のものの報酬に関する条例の一部を改正するもの。

この議案は、健康福祉課、子育て支援課の2課にわたり審査しました。

【健康福祉課関係】

[質疑・意見]

問 今まで被害相談は無かったとのことだが、今回何人で状況はどうか。

答 今のところ1名の方から予防接種を5回受けたが、その後具合が悪くなったため、どうしたらいいのかという内容の相談を9月に受けており、そこから継続して相談を受けている状況である。

問 調査委員会であるため調査して発表することになると思うが、この件については発表や公表はしているのか。

答 まだ申請が来ていないため、申請書類を確認してから調査しようと考えている。発表については、内容に個人情報も含まれるため、厚生労働省や県と相談しながら考えていく。

【子育て支援課関係】

[質疑・意見]

なし

各課の審査が終了し、全体的な討論はなく採決したところ、議案第54号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定しました。

● 議案第55号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

令和6年人事院勧告に伴う「一般職の職員の給与に関する法律」の一部改正に準拠し、給与の改正をするもの。

[質疑・意見]

問 DX化によって勤怠管理システムが導入されているが、給与の算出はどのように連動しているのか。

答 職員給与についてもシステム化されており、例えば勤怠管理システムで時間外勤務手当の申請を行うと、それが給与システムに連動される仕組みとなっているため、システム導入前よりもスムーズな形で給与計算ができる仕組みになっている。

討論はなく採決したところ、議案第55号は、委員長を除く委員多数の賛成により可決すべきものと決定しました。

● 議案第56号 白馬村福祉医療費給付条例の一部を改正する条例について

番号法等一部改正法による、令和6年12月2日からのマイナ保険証制度開始と、児童扶養手当法施行令及び特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行令の一部を改正する政令の交付に伴い所要の改正を行うもの。

[質疑・意見]

問 第7条の受給者証の提示について、文言に3種類くらいの証明書が記載されているが、こういった書き方にしておけば全体に通用するという見解で「資格確認」といった文言にしたのか。

答 福祉医療関係の条例の「改正例」として、こういった表現があるとの提示を

受けており、それを参考にしている。

問 今までの保険証を使っている人、確認証を使っている人、マイナンバーカードを使っている人などいろんなパターンがあるため、このように書くことによってすべてのパターンが網羅されるという解釈でよいのか。

答 その通り。

討論はなく採決したところ、議案第56号は、委員長を除く委員多数の賛成により可決すべきものと決定しました。

● 議案第57号 令和6年度白馬村一般会計補正予算(第6号) 所管事項

歳入歳出それぞれ1億4,645万2千円を増額し、歳入歳出予算の予算総額を72億3,871万8千円とするもの。

【総務課関係】

一般管理事業66万円の増額は、国のアナログ規制による調査委託料によるもの。

財産管理事業440万円の増額は、八方文化会館アリーナの改修工事費によるもの。

企画一般事業43万3千円の増額は、見込みよりも寄付があったため協働のまちづくり推進補助金を増額するもの。

ふるさと納税事業4,848万2千円の増額は、返礼業務委託料が主なもの。

ふるさと納税基金事業5,170万6千円の増額は、寄付金額の歳入を4億円から5億円と見込んだことから積立金を増額するもの。

[質疑・意見]

問 八方文化会館の改修工事は、どのような改修をするのか。

答 現在使用している水銀灯の替えがないため、今後不備がないように考えLEDに替えるというものと、夏合宿を受け入れる際、床が剥げてしまっている箇所がある状態では今後の継続が難しくなることを総合的に判断し改修することとなった。

問 ふるさと納税の返礼品の金額については、物価等の高騰を受け、見直しが必要ではないか。

答 宿泊の場合は、「補助券」を金券という形で使ってもらうため見直しは検討

していない。リフト券については各索道事業者とシーズン前に協議を行い、寄附金に対する3割ということで逆算して寄付金額を設定している。白馬産米については、値上がりの予測が難しく、来年度に向けてはどういった形で提供するのかも含め、生産者と価格設定を考えていく。

【住民課関係】

住民総務費59万3千円の増額は、人間ドック受診補助事業の支出増と、黒豆沢被災者に対する後期高齢者医療保険料の減免額確定によるもの及び、資格喪失者の可能分保険料の還付に対応するため、後期高齢者医療特別会計において生じた不足分を後期高齢者医療特別会計に繰出すもの。

福祉医療費給付事業338万7千円の増額は、福祉医療費受給資格者の医療費増大に伴い、福祉医療費給付が増加しているため当初の予算額に不足分を計上するもの。

[質疑・意見]

なし

【健康福祉課関係】

心身障害者福祉事業627万6千円の増額は、強度行動障害者のサービス料の増額によるもの。

介護保険事業263万7千円の増額は、広域議会11月定例会で議決された虹の家運営費の白馬村負担によるもの。

保健予防事業2万2千円の増額は、予防接種健康被害調査委員会の実施に伴う経費の計上によるもの。

[質疑・意見]

問 自立支援給付費の補正について、対象となっている方は何名いるのか。

答 もともと対象となっている重度の方は1名であり、その方に対する増額補正。

問 調査委員会の旅費の計上について、どこから来てもらう方を想定しているのか。

答 いくつかの市町村に確認したところ、この辺りでは大町総合病院の医院長を呼ぶところが多かったため、その予算を基準に作っている。また医師会にも相談しようと思っているが、村内外の医師ではない先生が来る場合も想定して計上している。

問 委員の旅費については、近隣からの想定をしていると思うが、コロナワクチンの問題は全国規模であるため、患者さんが遠くの医師を要望した場合の対応は。

答 きっかけはコロナであるが、他の予防接種の健康被害についても調査委員会は設置される予定であるため、例えば県外で受けた予防接種によって健康被害が起こったという場合も対象となってくる。状況によっては圏域外の医師に頼むということも想定される。

【教育課関係】

教育振興費スキー教室コーチ委託料37万5千円の減額は、物価等の影響を受け、コーチ委託料の値上げによる増額によるもの。

中学校教育振興事業323万9千円の増額は、R7年度の中学校の教科書改訂による教師用の指導書の購入費用によるもの。

学校給食センター事業18万9千円の増額は、備品購入費が主なもの。

[質疑・意見]

なし

【子育て支援課関係】

児童手当等給付事業の施設型給付費1,099万円の増額は、白馬幼稚園の定員区分が75名から60名に変更と国の公定価格改正による増額によるもの。

地域型保育給付費594万円の増額は、公定価格の改正とサンライズキッズ保育園で12月から0歳児を3名追加で預かることによる費用の増額によるもの。

過年度還付金1,351万2千円の増額は、R4、R5年度に実施した補助事業の実績に応じて国に還付するもの。子育て支援事業540万円の減額は、子ども第3の居場所の開設が3ヶ月遅れたことによる運営費の減額によるもの。

母子保健衛生事業125万3千円の増額は、今年度の未熟児の入院日数が多いための給付費の増額と国庫負担金返還金によるもの。

[質疑・意見]

なし

【生涯学習スポーツ課関係】

スノーハープ維持管理事業44万2千円の増額は、スノーモービルなどの修繕費によるもの。

スキー大会推進事業800万円の減額は、ノルディックコンバインドのワールドカップ白馬大会の開催断念による負担金の減額と、ファーイーストカップの開催による負担金の増によるもの。

ウイング21維持管理事業112万7千円の増額は、スプリンクラーの修繕費が主なもの。

[質疑・意見]

問 ファーイーストカップの開催について、主催はどこで、その経緯は。

答 主催は全日本スキー連盟。経緯については会場地の見直しがあり、白馬と菅平で行うこととなり、今回補正計上となった。

【議会事務局関係】

議会事務事業5万7千円の増額は、マイク1台分の修繕費によるもの。

[質疑・意見]

なし

各課の審査が終了し、全体的な討論はなく採決したところ、議案第57号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定しました。

● 議案第58号 令和6年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ2,879万5千円を増額し、歳入歳出の予算総額11億1,548万円とするもの。

質疑討論はなく採決したところ、議案第58号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定しました。

● 議案第59号 令和6年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ59万3千円を増額し、歳入歳出の予算総額を1億3,612万3千円とするもの。

質疑討論はなく採決したところ、議案第59号は委員長を除く委員全員の賛

成により可決すべきものと決定しました。

● **陳情第9号 私立高等学校に対する公費助成をお願いする陳情書**

提出者は、松本市県3-6-1 中信地区私学助成推進協議会 会長 中野潤。受理年月日は令和6年11月20日。

陳情内容は、就学支援金の加算対象ではない世帯や、今回加算された世帯に関しても、いまだ保護者の多くは公立と私立では依然として学費の差が大きいと感じており、昨今の諸物価の高騰に対し多くの世帯ではそれに見合う賃金の上昇が見込めず、保護者の学費負担は深刻な状況であるため、保護者への直接補助の継続ならびに増額を求めると、国、県の関係者に対して就学支援金制度の拡充ならびに私学助成の増額のための意見書の提出を求める陳情です。

[審査]

問 村の助成額はいくらか。

答 私立高校の就学補助は1人につき年間2万円。

問 現在何人に補助しているのか。補助が増えれば私立高校に通う生徒がどの程度増えると想定されているのか。

答 概ね20人程度。私学の話もあるが、村外の公立高校に通う生徒に対しての補助が何もないことから、最近、教育委員会にそのような相談もあった。中信地区の私学に通っている生徒は9名で、その他長野、上田に通っている生徒がいる。陳情者からは、増額よりも継続を要望していた状況だった。

[討論]

採択 ぜひ継続していただきたいと思う。村外の公立高校に通う生徒にも考慮していただきたい。

採決したところ陳情第9号は委員長を除く委員全員の賛成により採択すべきものと決定しました。

以上、総務社会委員会の審査等についての委員長報告といたします。